

# 能代・しらかみ地の塩基金 地域に貢献 4人表彰



顕彰の集いに臨む(左から)鈴木さん、渡邊さん、丹波さん、藤井さん、腰山さん

能代市の地域奉仕団体・しらかみ地の塩基金(丹波渡邊表)は14日、地域活動に尽力した人をたたえる「顕彰・感謝の集い」を能代市柳町の旧料亭金勇で開き、生活支援や教育・文化振興に取り組む4人を表彰した。

表彰を受けたのは能代市で「向能代子ども食堂」を開いている腰山郁子さん、同市の浄明寺を拠点にフードバンクや子ども食堂を運営する藤井真貴子さん、同市で定期的な講座開催などに取り組む「市民おもしろ塾」の渡邊耕佑さん、八峰町でシオパークの普及啓発に携わる鈴木和人さん。それぞれスピーチし、活動への思いを語った。

腰山さんは、子ども食堂の運営で幅広い世代の交流が生まれていることを紹介し「人

生の選択肢を広げることにもつながる」と話した。藤井さんは、農業科のある能代科学技術高の生徒が育てた野菜を使った料理を子ども食堂で提供するなど、地域と連携した取り組みを紹介した。

市内外の識者を招いて講座を開いてきた渡邊さんは「おもしろ塾の活動を人生の集大成とするつもりで取り組んでいる」と語った。鈴木さんは元教員で八峰町治産部のシオパーク登録に尽くした工藤英美さん(昨年死去)に中学時代から学び、師事した。あいさつで工藤さんの功績を振り返り、遺志を継ぐと誓った。

しらかみ地の塩基金は、能代市で学校法人の運営に携わった丹波さんらが2023年に設立した。

(佐藤 辰)